

赤十字NOW

千葉 | 2019 春号 Vol.46

▶ 発行所/日本赤十字社千葉県支部 〒260-8509 千葉市中央区千葉港5-7 TEL 043-241-7531 FAX 043-248-6812

災害からいのちを守る赤十字 被災者に寄り沿い助ける 日赤の災害救護



CONTENTS 2019 vol.46

2 3 特集

災害から
いのちを守る
赤十字

4 あなたも 赤十字サポーターに!

5 News&Report

・青少年赤十字国内交流派遣事業
赤十字ゆかりの地を訪問

・防災・減災プロジェクト
～私たちは、忘れない。～
3/11 ワークショップ
3/15 講演会

6 Information

・幕張メッセどきどきフリーマーケットに赤十字が初出展!
・県民の日ちば ワクワクフェスタ2019
・ゴールデンウィーク(10連休)における成田赤十字病院の診療について
・4月からNHK千葉FMで防災情報を発信!

災害からいのちを守る赤十字

医療+物資+ボランティアによる 総合的な救援

地震や豪雨など、いつ発生するか分からない災害。発災時にいち早く出動し、救護活動が行えるよう、赤十字は常に災害救護体制を整えています。「災害からいのちを守る赤十字」の救護活動をご紹介します。



総合的な支援体制が赤十字の強み！

災害現場には、赤十字の救護班のほかに、国や自治体が派遣するDMATや日本医師会が派遣するJMATなど、様々な医療チームが駆けつけます。

この様な中で、赤十字の強みは、全国92の赤十字病院が交替で救護班を派遣するなど、切れ目のない救護活動を展開できることや、救援物資の配布、赤十字ボランティアによる避難所支援など、総合的な体制で被災者支援を展開することができることです。

救護班を常備し、発災後直ちに行動！

千葉県支部では災害時に備えて、救護班を成田赤十字病院に12個班、血液センターに2個班常備しています。救護班は7人編成(医師1・看護師長1・看護師2・薬剤師1・主事2)で、平時は病院や支部に勤務し、研修や訓練を通して災害救護に必要な知識や技術を身につけています。

いざ災害が発生すると、直ちに被災地に出動。救護所の設置や保健医療ニーズ調査、巡回診療、こころのケア活動などを行います。



平時から研修や訓練を重ね、いざという時に備える



救護所で診療を行う



被災者の言葉に耳を傾け寄り沿う(こころのケア活動)

医療救護活動24時！

～北海道胆振東部地震災害の救援活動～

医療救護活動について、活動報告を通してご紹介します。
平成30年9月6日、北海道を襲った最大震度7の地震は、土砂災害等による犠牲者や甚大な被害をもたらしました。日赤は、発災後直ちに北海道と東北6県から救護班を派遣。また、先発の救護班と交代するために関東7都県からも救護班を派遣し、成田赤十字病院からは1個班が出動しました。

成田日赤救護班の活動報告から(抜粋)

●9月9日 15時、医療資機材を積載した救護車両に救護班要員8名が乗車し成田日赤を出発。19時、大洗港に集結した関東5救護班はフェリーで北海道へ。

●9月10日 13時30分、苫小牧港に到着。15時、救護所・現地災害対策本部が設置された厚真町総合福祉センターに到着。先発班の秋田日赤から引き継ぎ。

●9月11日 災対本部の全体会議で担当避難所が決定。共同で担当する前橋日赤と打合せの後、早来小学校、安平町民センター、同公民館等5か所の避難所を巡回診療。具合が悪い被災者を診療するほか、感染症対策の指導も行う。

●9月12日 担当避難所5か所を巡回診療。17時、後継班の山形日赤へ引き継ぎ。18時30分、厚真町を出発。25時、苫小牧港からフェリーで帰途へ。

●9月13日 19時30分に大洗港に到着。



現地災害対策本部におけるミーティング(厚真町総合福祉センター)



避難所において巡回診療を行う救護班



救護班長 小児科医師 石田茂誠



看護班長 菱木美和子
(東日本大震災にも出動)



避難所で感染性胃腸炎対策として
嘔吐物処理セットを作成



北海道に向かうフェリーの中で被災地の状況を確認する救護班



主事 経営管理課管理係長 三田雅嘉
(東日本大震災、熊本地震にも出動)

他の救護班要員

医師 磯貝俊太郎、看護師 小松崎綾乃、看護師 杉澤麻奈、
薬剤師 古野誠、主事 上野佑樹

救護活動を支える資機材をご紹介します！

速やかに出動できるよう、医療セットや必要な携行品を常備しています。

これらの資機材は、皆様からお寄せいただく活動資金で整備しています。



ハートラちゃん

医療セット



初動時に携帯する医療セット



医療資機材(蘇生・外科セット)

その他の携行品



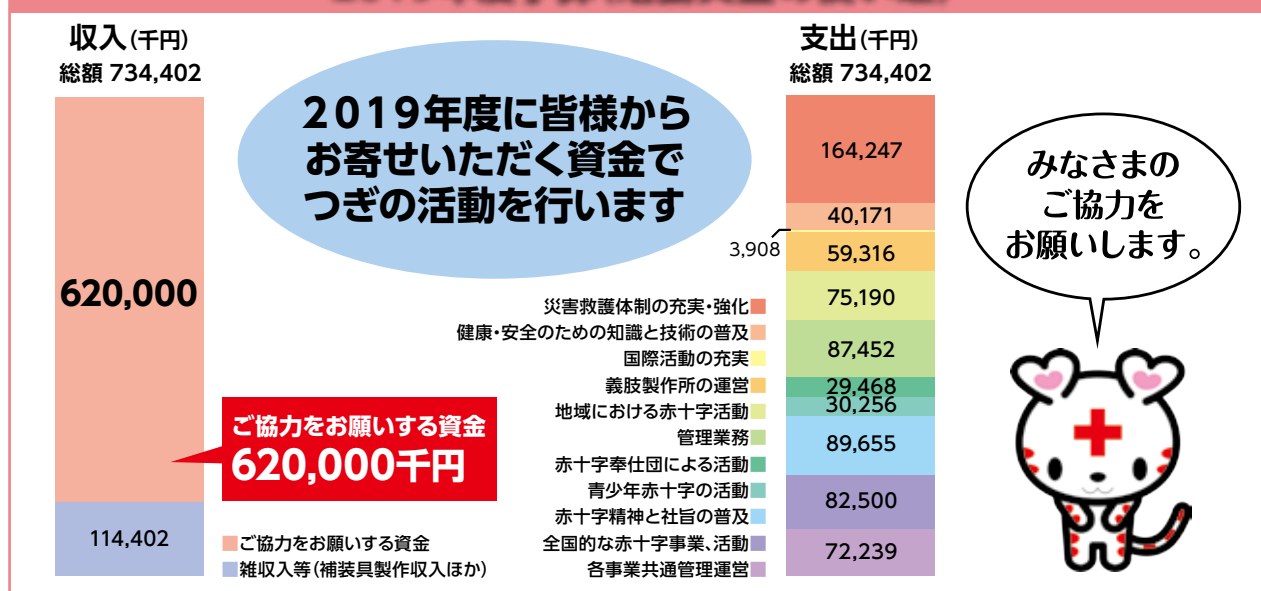
通信や活動に必要な資機材(蓄電池、衛星電話、無線機、パソコン、タブレット端末、Wi-Fiルーター、プリンター、ビデオカメラ、カメラ、ヘルメット、ゴーグル等)

あなたも赤十字サポーターに！

赤十字の人道的活動は、国や県からの公的資金によらずに、皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています。

赤十字活動資金へのご協力をお願いします。

2019年度予算(活動資金の使い道)



活動資金へのご協力方法

毎年5月・6月に行われる赤十字運動月間中に、町内会・自治会、赤十字奉仕団などの皆様にご支援をいただきご協力をお願いをしているほか、年間を通じて以下の方法でもご協力いただけます。

インターネットで



クレジット、口座振替がご利用いただけます。

お近くの窓口で



各市町村の赤十字窓口、千葉県支部で受け付けています。

※ご協力方法の詳細はホームページでご案内しています

日本赤十字社では、ご支援者の方々に対し、赤十字の会員の一人として継続的なご協力をお願いしております。

なお、ご協力をいただいた金額が2千円以上の方々は、支援者として登録させていただき、定期的に広報紙などをお送りいたします。

税制上の優遇措置のご案内

赤十字活動資金にご協力をいただくと、次の税制上の優遇措置を受けられます。

個人に対する税制上の優遇措置

優遇区分	措置の内容等
所得税 (所得控除)	寄付金の全額(ただし、上限は寄付者の年間所得総額の40%まで)から2千円を差し引いた額が、寄付者の年間所得総額から控除されます。
相続税 (非課税)	相続により取得した財産(全部または一部)を寄付した場合、寄付した相続財産の価格が相続財産から除外されます。

法人に対する税制上の優遇措置

優遇区分	措置の内容等
法人税	通常の寄付金の損金算入限度額とあわせて、別枠で算出した特定公益増進法人に対する寄付金の損金算入限度額を損金に算入することができます。

●お問い合わせ・お申し込み先



日本赤十字社 千葉県支部 総務部 振興課

Japanese Red Cross Society

TEL 043-241-7531 (代表) | URL: <http://www.chiba.jrc.or.jp/contribute/entry.html>

青少年赤十字国内交流派遣事業 赤十字ゆかりの地を訪問

平成31年2月22日(金)～24日(日)の3日間、千葉県青少年赤十字の小学生メンバー8名が、日本赤十字社発祥の地である佐賀県・熊本県を訪問。歴史的な施設を見学し、赤十字思想への理解を深めるとともに、地元のJRCメンバーと交流しました。

佐賀市立中川副小学校のメンバーとは、互いの活動の発表やレクリエーションなどを通して打ち解け合い、笑顔あふれる交流会となりました。

また、佐野常民記念館や田原坂西南戦争資料館を訪れ、日本赤十字社の前身である博愛社誕生の背景や、敵味方なく救護する人道・博愛の精神を学びました。

さらに、熊本城の見学や熊本県支部での講演を通して、熊本地震や当時の赤十字の救護活動への理解を深め、最終日には阿蘇山の雄大な自然にも触れました。

参加したメンバーたちの声

中川副小学校JRCメンバーと交流して赤十字にもっと興味を持つことができました。

学んだことを生かして、学校のみんなにもJRC活動を広めていきたい。

熊本地震で活動する赤十字の映像を見て助け合いのすばらしさを知りました。



佐賀市立中川副小学校のJRCメンバーと交流会



活動発表を行う千葉県JRCメンバー

日本赤十字社の創設者である佐野常民の業績を学ぶ



ボランティアガイドから熊本城について説明を受ける

防災・減災プロジェクト～私たちは、忘れない。～

東日本大震災が起きた3月に防災・減災プロジェクトとして、防災・減災に関するワークショップと講演会を開催しました。

3/11 ワークショップ

赤十字ちば×銚子地方気象台

「経験したことのない大雨 あなたはその時どうする？」

銚子地方気象台職員を講師に、ワークショップを開催。参加者は講義・グループワークを通して大雨災害時における身の守り方などを学びました。



大雨災害発生時に危険な場所などについて説明する銚子地方気象台職員

3/15 講演会

～女性・子ども・高齢者・障がい者などの視点から～ 地域の防災力アップ

減災と男女共同参画 研修推進センター共同代表の浅野幸子氏を講師に迎え、過去の災害の教訓を踏まえ、様々な視点から被災者支援の課題や地域の防災力向上等についてお話いただきました。



地域に暮らす多様な人々への配慮や支援の課題について説明する浅野氏

5・6月は赤十字運動月間です!

千葉県支部では、5・6月を「赤十字運動月間」として、赤十字活動へご理解とご支援を呼びかける取り組みを行っています。様々な赤十字活動を知っていただくために、下記のイベントに出展しますので、ぜひご来場ください。



5/
3・4・5

幕張メッセどきどき フリーマーケットに 赤十字が初出展!



日 時 2019年5月3日(金・祝)～5日(日・祝)
10時～17時

会 場 幕張メッセ 国際展示場1～8ホール

主 催 幕張メッセどきどきフリーマーケット

実行委員会

出展内容 ・赤十字活動紹介展示
・救急法等体験コーナー
・ステージイベント等

そ の 他 ・フリーマーケットへの
入場は有料となります。
・ブースへの来場者には
プレゼントがあります。



プチタオルなどをプレゼント!

6/16

県民の日 ちばワクワクフェスタ2019

お仕事体験や救護車両を展示

日 時 2019年6月16日(日)9時30分～17時

会 場 幕張メッセ 国際展示場 3ホール

主 催 千葉県

出展内容 赤十字のお仕事体験
救護車両の展示
救護資機材の展示 等



制服を着て敬礼(救護員体験)



救急車に乗車も!

ゴールデンウィーク「10連休」における成田赤十字病院の診療について

成田赤十字病院は、4月27日(土)から5月6日(月)の10連休期間中、4月30日(火)と5月2日(木)の2日間は入院・外来ともに通常の診療を行います(一部診療科は休診となる場合があります)。

なお、救急については、24時間365日体制で対応します。

詳しくは、当院ホームページでご確認ください。



休日・祝日	診療体制
4/27(土)～29(月)	救急(24時間)
4/30(火)	開院・救急(24時間)
5/1(水)	救急(24時間)
5/2(木)	開院・救急(24時間)
5/3(金)～6(月)	救急(24時間)

4月からNHK千葉FMで 防災情報を発信!

番組名 NHK千葉FM「ひるどき情報ちばFM」
放送日時 毎月第3月曜日午前11:35～11:50
内 容 千葉県支部職員が毎月テーマを設けて防災情報を提供

活動資金 協力企業 (団体) ご紹介

日本赤十字社の活動は、皆様からお寄せいただく活動資金に支えられています。赤十字のサポーターとして、活動を支えていただく「大きな力」となっています。ご協力、誠にありがとうございました。

※平成30年度第3四半期に千葉県支部へ直接10万円以上のご寄付をいただき、掲載をご了解いただいた法人(団体)のお名前をご紹介します。なお、千葉県支部ホームページにおいてもご紹介しています。(敬称略・五十音順)

行政書士法人 内田総合事務所(千葉市美浜区)
エム・ティー・エム興産株式会社(市川市)
クオード(千葉市・市原市・木更津市)

源清田商事株式会社(成田市)
医療法人社団愛弘会 みらいウィメンズクリニック(印西市)